

日本農業気象学会2008年度第2回理事会議事録

日 時：2008年10月3日（金）13:00～17:35

場 所：東京大学農学部7号館 A 棟7階717号室（東京都文京区弥生1-1-1）

出席者：平野，大政，後藤，小林，荊木，沖，北野，松岡，朝倉，五十嵐，大野，宮田，
黒瀬，岡田，青木，蔵田，富士原
鳥谷（日本地球惑星科学連合評議員代理）

欠席者：皆川，井上，横山，田中，町村，菅谷，小沢，脇水，清野，大原，渋谷，星

[会長挨拶]

[議事録確認]

1. 2008年度第1回理事会議事録（案）（大野，資料1）
原案通り承認された。

[報告・連絡事項]

1. 日本農学会関係（富士原，資料2）
9月19日に運営委員会が開催され，日本農学賞選考方法の改正案が提示されたこと，および10月11日に日本農学会シンポジウム「地球温暖化問題への農学の挑戦」が開催されることが報告された。
2. 2009年全国大会および農業気象国際シンポジウム ISAM2009準備状況（岡田，資料3）
資料に基づき報告された。ISAM 論文の原稿提出を，オンラインで行うことで実行委員会の負担が軽減できるとの発言があった。
3. 日本農業気象学会シンポジウム準備状況（沖，資料16）
開催案内が示され，シンポジウムおよび懇親会への参加申込期限が説明された。庶務より会員宛メールを送付し，全国の会員にシンポジウムへの参加を促すこととした。
4. 2010年全国大会準備状況（富士原）
大会委員長に林真紀夫会員（東海大学）が選出され，11月末に開催地ならびに開催期間を決定する予定であることが報告された。
5. 役員選挙進行状況（荊木，資料4）
各支部より報告を受けた支部長，支部選出理事および支部選出評議員を有権者として，会長選挙の投票を行い，9月27日に投票を締め切り9月30日に開票した結果，投票総数は44，うち有効投票数は37，最多得票者の得票数は19，次点者の得票数は

9であった旨、報告された。最多得票者が辞退したため、その対応を審議事項として審議することとした。

6. 学会賞審査状況（黒瀬）

論文賞および奨励賞授賞候補者を10月末まで推薦するよう編集委員会に依頼中であることが報告された。

7. 永年功労会員表彰審査状況（黒瀬）

候補者推薦受付期間中に推薦がなかった旨を表彰担当理事が永年功労会員表彰審査委員長に報告したこと、およびこれを受け同委員会は推薦のないことを確認し、審査を行わないことを決定したことが報告された。

8. 学会誌の発行および論文の審査（小林，資料5）

64巻2号が発行されたこと、3号以降の当面の掲載論文数は充足される見通しであること、および編集委員の補充が必要と見込まれるので、候補者リストを次回理事会に提示する予定であることが報告された。

9. J-Stage 論文審査システム（小林，資料5）

「農業気象」への掲載が決定した論文の J-Stage への早期掲載が可能となり、8月31日より開始したこと、および新システムへの移行に伴い、原稿作成規程を改正しそれを64巻4号に掲載予定であることが報告された。

10. 2008年度の会費納入状況（朝倉）

会計年度末が12月末日であることから学会費を早急に徴収する必要があること、8月29日に240名の会員に納付を督促したこと、および複数年にわたる未納者は約160名であることが報告された。

11. 海外特別会員名簿の確認（朝倉，資料6）

海外特別会員は、Editorial Board メンバーと外国人会友からなる。海外特別会員には連絡先情報が不完全な者が多いため、Editorial Board については、理事会メンバーより情報の提供を受け、会友については確認の書面を会計より郵送するとともに、新規外国人会友を募集することとした。

12. ホームページ管理業務状況（富士原）

各種情報を随時ホームページに掲載していること、現時点では掲載作業の負担は過多ではないこと、体裁や見やすさなどについて意見を求めていることなどが報告された。なお、会員に特に周知する必要がある情報については、ホームページに加えて会員宛メールも積極的に利用することとした。

13. 学会業務委託先および会誌発行業務委託先変更の検討結果（富士原・松岡，資料7）

養賢堂より提示された平成21年度の学会業務および会誌発行業務委託費用見積書を理事会メンバーに送付してメール審議を行い、平成21年度は引き続き養賢堂に委託するに至った経緯について報告された。

14. Web 版センサハンドブック準備状況（北野，資料8）

Web 版センサハンドブックへの掲載製品の更新が頻繁であると管理作業が繁雑になると予想されるため、管理作業軽減策を講ずる必要のあることが説明された。また、賛助会員である企業数社にヒアリング行ったところ、設定金額が高いとの意見が寄せられたことから、今後、すべての賛助会員へのアンケート調査を実施予定である旨、説明された。

15. 他団体からの依頼・募集・調査への対応（大野，資料9）

資料に基づき報告された。

16. 共催・協賛・後援（大野，資料9）

資料に基づき報告された。この他に、アジアフラックス10周年記念ワークショップを後援するレターを、会長名で先方に送付済みであることが報告された。

17. 永年功労会員表彰審査委員会規程改定に関するメール審議結果の確認（大野）

メール審議で了承されたとおり、永年功労会員表彰審査委員会規程2における会員数の日付を8月31日から5月31日へと変更することが確認された。

18. 日本農業気象学会2008年度全国大会および農業気象国際シンポジウム ISAM2008会計概況報告（荊木，資料17）

資料に基づき説明があり、「農業気象」編集関連支出についてのみ未確定である旨、説明された。

19. 日本学術会議関連（青木）

農業生産環境工学分科会から提言書が提出され、同分科会は次期も継続されること、農業と環境分科会は報告書を提出し今期末で解散したこと、人工降雨関係の報告書が学術会議より出されたことなどが報告された。

20. その他

なし

[審議事項]

1. 学会長選挙の取扱い（荊木，資料19）

最多得票者が会長候補者を辞退したため，学会長選挙の取り扱いについて審議された。その結果，最多得票者と次点者の得票数差が大きいことを考慮し，再投票を行うことにした。

2. 学会賞選考方法および日本農学賞推薦に関する意見書（富士原，資料10）

学会賞の選考にあたり，審査基準の明確化，審査委員資格の新設，候補者推薦有効期間の複数年化等について検討するよう文書により高倉名誉会員より要望があった。検討の結果，学会賞受賞者でかつ審査委員会委員経験者からなる作業グループを組織し，関連する素案を作成することとした。作成した素案は，2009年3月開催の理事会で報告することとした。なお，作業グループの代表は副会長とし，会長は作業グループに含めないことにした。

3. 日本農学賞受賞候補者の選定（富士原，資料11）

本学会における受賞候補者推薦の締切日までに一件の推薦があった。推薦書類，候補業績等を資料として審議の結果，その候補者を本学会より受賞候補者として推薦することが了承された。また，推薦書類の精査を行う会員の選定は会長に一任することにした。

4. フェデレーション覚書改正案（蔵田，資料12）

資料に基づき説明があり，原案通り了承された。

5. 2011年または2012年の農業環境工学関連学会合同大会開催（蔵田）

開催に関して意見があれば，総務理事または会長に文書で提出することとした。

6. 日本地球惑星科学連合への対応方針（鳥谷，資料18）

基本的には積極的に関わるが，本学会選出委員の負担が大きくなった場合，あるいは負担金の拠出等を求められた場合には対応を見直す方針とした。選出を求められているプログラム委員には鳥谷会員を選出し，情報局員については，庶務理事が後日候補者を選定してメール審議にて承認を得ることとした。

7. 学会賞受賞者選考手続きにおける投票者（黒瀬，資料13）

学会賞規程6(7)では，「理事および評議員の投票によって」となっているが，これを「支部長，理事および評議員」に改める改正案を，次の総会に提案することとした。さらに，永年功労会員表彰規程4(5)についても，「理事および評議員の投票によって」を「支部長，理事および評議員」に改める改正案を，次の総会に提案することとした。なお，会長および副会長は投票者に含まれないことが確認された。

8. ポスドク会員制の導入（朝倉，資料14）

ポスドク会員制の導入について資料に基づき説明があり，審議の結果，導入することが了承された。これに伴い次回総会にて会則改正を提案する必要が生じたので，会計理事が会則第4章の改正案を次回理事会で提案することとした。

9. 学生会員および購読会員の資格内容の検討（朝倉，資料14）

学生会員および購読会員の資格内容が会則に記載されていないことから，新たに文案を作成して会則に記載することとした。原案について審議した結果，学生会員および購読会員の資格内容を，それぞれ，「大学等に在学中の学生，大学院生等で，指導教員の身分証明を受けた個人とする」，および「学会誌の購読を目的として入会する団体，機関とする」と定めることにした。なお，資料として配布された会員種別の資格と特典の表を，会則に資料として掲載することとした。

10. 海外特別会員の推薦に関する会則改正案（大野，資料15）

原案通り総会に提案することとした。

11. 学会名称に関する会員意見交換会の運営・進行

11月5日に開催予定の会員意見交換会を次の要領で運営することにした。進行は会長が行い，意見交換に先立って，全般的な問題提起，教育に関する問題提起，およびこれまでの議論経過についての総括を行う。また，意見交換会の開催案内を会員宛メールで配信することとした。

12. 英文ホームページの準備

英文ホームページが必要であるとの意見が出され，部分的な英文のコンテンツの準備を，当面会長が対応することとした。

13. その他

学会事業年度の変更に伴い，全国大会等に付している「度」が不要ではないかとの意見が出され，全国大会については「度」を削除し，例えば「2009年全国大会」とすることとした。理事会，評議員会等に関しては，改めて検討することにした。

[その他]

1. 今後の理事会開催予定

2008年度第3回理事会は12月12日(金)に開催し，第4回理事会は3月3(火)～9(月)の間に開催することにした。